

安田教育研究所

安田理 氏

「平成 29 年度 中学入試の動向」

# 2017年度中学入試はどう行われたか

安田教育研究所

安田 理

## 全体の状況

### ●首都圏中学入試の全体的な流れ

入試年	小学校卒業生数	募集定員	受験者数	受験率
2017年	291,961	43,669	47,500	16.3
2016年	296,800	44,161	47,000	15.8
2015年	300,400	44,276	46,500	15.5
2014年	303,000	44,521	47,000	15.5
2013年	305,000	44,632	49,500	16.2
2012年	305,000	44,520	52,500	17.2
2011年	307,000	44,247	54,000	17.6
2010年	303,000	43,806	54,000	17.8
2009年	303,000	42,636	54,000	17.8
2008年	296,000	41,932	52,500	17.7
2007年	307,000	41,756	52,000	16.9

どのくらいの方が中学受験をしているか、という数字は実は公的な機関はどこも出していません（東京の場合は、小学6年生がどのような学校種＜公立、国立、私立、公立中高一貫校＞に進学したかという数字を12月ごろに公表します）。ですので、中学受験者数は、大規模な模試を行っている会社がそれぞれに推定して出しています。まずそれをご紹介します。

- ・首都圏模試 +450名で44150名
- ・日能研 +600名で57000名（公立中高一貫校含む）
- ・四谷大塚 +500名で47500名

少しずつ違いますが、首都圏ではおおよそ5～6人に1人が中学受験していることになり、ます（東京の都心の区だと4割が受験しているようなところもあります）。

2017年度入試はWeb出願が一気に広まったため応募者数はさほど増えていませんが、受験率(出願した者のうち実際に受けた人の割合)は上昇したため、受験者数は増えています。都県別では、神奈川を除く1都3県で増えています。

## どこが人気上昇したの？

私立中学について、都県別・学校種別<男子校・女子校・共学校>に前年より応募者数が大きく伸びた学校を取り上げてみましょう(110%以上増加した学校です)。

### <東京>

- ・男子校 佼成学園、芝浦工大、明大中野、世田谷学園、日大豊山
- ・女子校 トキワ松、十文字、日大豊山女子、学習院女子、八雲学園、立教女学院
- ・共学校 明大中野八王子、郁文館、宝仙理数インター、日大第三、明星学園、立正大立正、東海大菅生、三田国際、日本工大駒場、日大第二、八王子学園、広尾学園、上野学園、実践学園、開智日本橋、帝京、駒込、玉川学園、多摩大目黒、桜美林、淑徳巣鴨

### <神奈川>

- ・男子校 栄光学園
- ・女子校 清泉女学院、聖園女学院、横浜共立学園
- ・共学校 関東学院、横浜翠陵、森村学園、桐光学園、鶴見大学附属、法政第二

### <千葉>

- ・共学校 二松学舎柏、東邦大東邦、昭和学院、専修大松戸

### <埼玉>

- ・共学校 昌平、星野学園

ただ、総応募者数は入試要項の変更(入試回数増、午後入試の導入、入試日程の移動等)で、大きく変わります。そこで、各校の第1回入試について見てみましょう。前年に比べて20名以上増えた第1回入試を地域別・学校種別に見ていきます。

### ■東京男子校<第1回入試>

男子校 10名以上の増加校		
学校名	応募者数	増加数
明治大学附属中野 1回	882	129
芝浦工業大学 1回	429	90
麻布	967	59
日本大学豊山 1回	297	44

早稲田高等学院	407	31
本郷 1 回	455	29
桐朋 1 回	439	28
早稲田 1 回	787	28
世田谷学園 1 次	212	23

■東京女子校 <第 1 回入試>

女子校 10 名以上の増加校		
学校名	応募者数	増加数
八雲学園 1 回	277	53
立教女学院	288	40
山脇学園 A	384	29
恵泉女学園 S	478	26
光塩女子学院 1 回	92	20

■東京共学校 <第 1 回入試>

共学校 10 名以上の増加校		
学校名	応募者数	増加数
安田学園 先進特待 1 回	387	217
広尾学園 1 回	599	188
三田国際学園 1 回	281	97
日本大学第三 1 回	399	88
郁文館 1 回適性検査型特 奨	178	85
日本大学第二 1 回	435	82
東京農大第一 1 回	693	88
明大中野八王子 AI 回	346	69
広尾学園 インターナショナル SG1 回	473	68
八王子学園八王子 1 回午 前(東大・医進)	201	62
開智日本橋学園 1 回	252	49
駒込 1 回	107	45

成蹊 1 回	348	43
青山学院	857	32
淑徳巣鴨 1 回	95	29
明治大学付属明治 1 回	679	29
立正大学付属立正 1 回午 前	128	28
郁文館 1 回特別奨学生	68	27
明星学園 A	76	27
多摩大学聖ヶ丘 1 回	118	27
安田学園 一般 1 回	110	25
成立学園 1 回	61	21

### ■神奈川男子校<第 1 回入試>

男子校 10 名以上の増加校		
学校名	応募者数	増加数
栄光学園	713	77

### ■神奈川女子校 <第 1 回入試>

女子校 10 名以上の増加校		
学校名	応募者数	増加数
横浜共立学園 A	358	61
桐蔭学園女子部 1 次(理 数・普通)	79	60
鎌倉女学院 1 次	546	40
捜真女学校 A	182	28

### ■神奈川共学校 <第 1 回入試>

共学校 10 名以上の増加校		
学校名	応募者数	増加数
法政大学第二 1 回	1056	124
関東学院 A	193	54
神奈川大学附属 A	824	49
森村学園 1 回	193	22
山手学院 A	417	21

### ■千葉共学校 <第1回入試>

共学校 10名以上の増加校		
学校名	応募者数	増加数
東邦大学東邦前期	2413	176
東海大学浦安A	349	115
日出学園①	92	102
渋谷教育幕張①	2014	97
千葉日本大学第一①	588	76
専修大学松戸①	1409	21

### ■埼玉女子校 <第1回入試>

女子校 10名以上の増加校		
学校名	応募者数	増加数
大妻嵐山①	253	135

### ■埼玉共学校 <第1回入試>

共学校 10名以上の増加校		
学校名	応募者数	増加数
東栄①	5891	853
開智①	1083	156
埼玉平成①午前	97	87
西武学園文理①特選	271	48
昌平①	140	41
大宮開成①特別進学	489	40
東京農大第三①特待	105	38
星野学園①	329	33

どの都県でも共学校が圧倒的に多いことに気づかれたと思います。埼玉の男子校、千葉・埼玉の女子校は数が少ないこともありますが、大妻嵐山以外顔を出していません。このように、2017年度入試では共学校志向が一段と進みました。

- ・社会に出たら男女一緒に働くのだから、今から何事も一緒にやっておいたほうがいい。
- ・幼稚園（保育園）、小学校と男女一緒だったので、それがふつう。
- ・共学校は歴史は浅いところが多いが、それだけに明るく開放的な校風であるからいい。といったことが、共学校が好まれる背景のようです。

私は長いこと中学受験にかかわる仕事をし、当然学校の中身も保護者以上に知っている  
ので、歴史ある別学校の男子教育・女子教育の蓄積、指導上の工夫、教員の優秀さ、施設  
の充実度などをわかっています。で、こうした結果を見ると、もっと別学校にも目を向け  
たらいいのと思います。

## 女子にも付属校志向が広がる

もう一つの大きな特徴が付属校志向が一段と強まったことです。

### ■付属校受験者数 前年比較

#### <男子校>

学校名	募集人数	17年	16年
		受験者数	受験者数
学習院	約140	620	578
慶應普通部	約180	546	578
日本大豊山	240	982	769
明大中野	約240	1304	1103
立教池袋	約90	482	471
立教新座	約140	1732	1804
早稲田	300	1644	1583
早大高等学院	120	377	347

#### <女子校>

学校名	募集人数	17年	16年
		受験者数	受験者数
共立女子第二	160	426	214
昭和女子大附	160	306	629
女子美術大付	135	306	237
日本女子大附	約140	220	394
日大豊山女子	140	311	239
立教女学院	約110	366	324

## < 共学校 >

学校名	募集人数	17年	16年
		受験者数	受験者数
青山学院	男女約 140	△764	◎743
慶應湘南藤沢	男女約 150	未公表	◎856
慶應中等部	男 140 女 50	△1435	○1513
成城学園	男女約 130	△606	◎643
創価	男女約 110	未公表	462
千葉日大第一	男女計 260	◎950	854
中央大附	男女計 150	△764	○758
中央大附横浜	男女計 160	●1079	○1178
東海大付浦安	男女計 120	△452	●494
東海大付相模	男女計 160	●266	◎422
東海大高輪台	男女計 80	●140	◎171
日本大学	男女計 200	●1710	◎2167
日本大第一	男女計 200	△375	◎379
日本大藤沢	男 60 女 60	△549	◎582
法政大学	男女約 140	△965	○940
法政大第二	男 150 女 60	◎1653	△1423
明治学院	男女約 140	●446	◎585
明中八王子	男女計 160	◎1011	●466
明大明治	男女約 150	◎1013	●951
早稲田実業	男 85 女 40	△515	○514

\* 共学校の◎は男女とも増、○は男子は増、△は女子は増、●は男女とも減を表す。  
未記入は男女別受験者数が不明。

### 6

付属校で応募者が大きく増えた学校がこんなにもあるのです。

2016年度入試でも男子には付属校志向が見られましたが、2017年度入試ではそれが女子にも広がりました。大学別では明治系、日大系が応募者を伸ばしたことが、2017年度入試の特徴でした。日大系は他大学進学コースを設けたことが、進路の可能性を広げるとして歓迎されたようです。

要因としては、下記のことが上げられるでしょう。

### 7



- ・大学入試改革がどのような形になるのか、依然として不透明で不安。
  - ・筆記試験による一般入試の募集人員はどんどん減っている⇒これから間違いなく難化する⇒今のうちに付属校。
  - ・うちの子の学力からして難関大学は望めそうにない⇒今のうちに付属校。
- 保護者は偏差値、大学合格実績だけで学校選びをしているわけではなく、校風、これからの大学入試事情、わが子の学力などいろんな要素を加味して学校選びしていることがわかります。

## そのほかの特徴

次にそのほかに見られた特徴的なことを挙げてみましょう。

### ●新しいタイプは話題のわりに人数的にはまだまだ

2020年以降の大学入試でも、次期「学習指導要領」でも、従来からの「知識・技能」に加えて、「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」が重視される方向になっています。そこで、早くもそれらに対応するために、入試でも新しいタイプが急増しています。

ひと口に新しいタイプと言っても、総合問題型、論述型、思考力テスト、プレゼンテーション（自己アピール）型……と、さまざまあります。

これらの入試はテレビ・新聞等でも大いに話題になりましたが、大勢集まったところもあればごく少数のところもあり非常に差が大きい入試でした。

大勢の応募者がいたところでは、大妻中野「新思考力」、八雲学園「未来発見」、桐朋女子「論理的思考力&発想力」、東京都市大学等々力「思考力・協働力」などが挙げられます。

### ●キリスト教系女子校は復調

2016年度は、キリスト教系の女子校は厳しい状況のところが多かったのですが、今年は復調したという印象を持ちました。カトリック系では雙葉、白百合学園、光塩女子学院、清泉女学院など17校中8校で、プロテスタント系では恵泉女学園、立教女学院、横浜共立学園など17校中8校で、前年より受験者が増えています。

### ●適性検査型入試の受験者数は二極化

適性検査型入試の入試回数は激増しています。その中では、宝仙学園が949名と、非常に多くの受験者を集めました。そのほか、安田学園、聖徳学園、郁文館には200名以上の受験者が集まっています。また、横浜隼人、浦和実業学園、聖望学園、千葉明德と、東京以外でも100名を超える大規模な入試となる学校が増えています。

その一方、適性検査型入試を行っても受験者数が1桁しか集まらなかった学校もありま

した。

### ●難易度が低くても、受験者が増えている学校は多い

首都圏模試で偏差値 49 以下の学校でも、受験者が増えている学校は多数存在します。ただし、易しい学校であればあるほど、共学志向が強まる傾向があるようです。たとえば東京では、偏差値 49 以下で前年より 10 名以上応募者が増えている学校は、男子校・女子校では 1 校ずつですが、共学校は 9 校もあります。神奈川では応募者が減っている学校が多く、埼玉では共学で増加している学校が多く見られます。

### ●中学入試でも顕著な医学部志向

近年の大学入試では医学部志向が強く見られますが、中学入試でも医学部志向は顕著です。八王子学園の東大・医進、広尾学園の医進サイエンス、埼玉栄の医学、江戸川取手の医科ジュニアなど、医学部進学を意識したコースは軒並み受験者数が増加しています。いずれも、女子が著しい伸び率を示しています。

## 公立中高一貫校、増えたのは少数

次に公立中高一貫校について見ていきましょう。

もっとも倍率が高かったのは昨年開校した千葉県立東葛飾の 12.0 倍で、もっとも低かったのは川崎市立川崎の 4.4 倍でした。因みに難関とされる都立小石川中等教育は 6.4 倍、千葉県立千葉 9.6 倍です。前年より倍率が上昇したのは、東京の都立立川国際中等教育、都立富士高校附属、千代田区立九段中等教育、神奈川の県立相模原中等教育、県立平塚中等教育、千葉の千葉市立稲毛高校附属、埼玉の県立伊奈学園、さいたま市立浦和の 8 校で、他の 12 校は下がっています。このほか今年新設された横浜市立横浜サイエンスフロンティアが 8.6 倍となっています。

東京で増えたのはもともと他校と比べ志願者が少ない学校です。神奈川の 2 校が増えているのは、横浜サイエンスフロンティアで県内に公立中高一貫校が 5 校になり、対策に力を入れる塾が増えていることが大きいと思われる。

8

学校名	募集 人員	応募者数 (カッコは昨年の数値)			応募 倍率 (同)
	男女計	男	女	男女計	
小石川	155	523(550)	475(468)	998(1,018)	6.44(6.57)
白鷗	144	390(382)	556(589)	946(980)	6.57(6.81)

9

両国	120	382(501)	438(502)	820(1,003)	6.83(8.36)
桜修館	160	420(476)	568(598)	988(1,074)	6.18(6.71)
富士	120	305(293)	348(300)	653(593)	5.44(4.94)
大泉	120	362(383)	447(494)	809(877)	6.74(7.31)
南多摩	160	359(397)	428(497)	787(894)	4.92(5.59)
立川国際	130	326(290)	412(432)	738(722)	5.68(5.55)
武蔵	120	282(316)	252(267)	534(583)	4.45(4.86)
三鷹	160	490(523)	486(538)	976(1061)	6.10(6.63)
一般枠計	1,389	3,839(4,111)	4,410(4,694)	8,249(8,805)	5.94(6.34)
千代田区立	A80	72(80)	84(95)	156(175)	1.95(2.19)
九段	B80	304(254)	397(377)	701(631)	8.76(7.89)

学校名	募集人員	応募者数、受検者数など(人)	倍率	前年倍率
さいたま市立 浦和	男女 各 40	応募者 484【昨年 447】 受検者 197 (男子 97、女子 100)	受検 2.46	受検 2.50
埼玉県立 伊奈学園	男女 各 40	応募者 406【同 329】 受検者 208 (男子 73、女子 135)	受検 2.6	受検 2.54
千葉県立 千葉	男女 各 40	応募者 770【同 793】 受検者 292 (男子 140、女子 152)	受検 3.65	受検 3.4
千葉県立 東葛飾	男女 各 40	応募者 956【1,157】 受検者 296 (男子 147、女子 149)	受検 3.7	受検 3.7
千葉市立 稲毛	男女 各 40	応募者 678【同 675】 受検者 638 (男子 303、女子 335)	受検 7.98	受検 7.9
神奈川県立 相模原	男女 各 80	応募者 1,232【同 1,046】 2次試験日 2月3日	応募 7.7	応募 6.5
神奈川県立 平塚	男女 各 80	応募者 815【同 761】 2次試験日 2月3日	同 5.1	同 4.8
横浜市立 南	男女 各 80	応募者 1,025【同 1,279】 2次試験日 2月3日	同 6.41	同 7.99
横浜市立 サイエンスフロンティア	男女 各 40	新規 685 (男子 450、女子 235) 2次試験日 2月3日	同 8.56	新規 募集
川崎市立 川崎	男女 計 120	応募者 523【同 553】 2次試験日 2月3日	同 4.35	同 4.6

